

# 地学オリンピック支援委員会

## 第9回議事録

2015年1月10日  
委員長 田中 義洋

期 日：2015年1月10日（土）15：00 - 17：30

場 所：日本地質学会事務局

出席者：浅野、小泉、芝川、久田、渡来（出席者5名、委任状4名提出で委員会は成立）

### 議 題

1. 平成26年度の活動報告
2. 地学オリンピックキャラクターデザインコンテスト一次審査と参加賞の検討
3. 第7回日本地学オリンピック予選問題の評価
4. 平成27年度の活動方針

### 詳 細

#### 1. 平成26年度の活動報告

##### 1) 第8回国際地学オリンピックスペイン大会日本代表選手の通信研修指導

久田委員より第8回国際地学オリンピックスペイン大会の報告があった。開催地はスペイン北部のサンタンデルで、試験などはマグダレナ半島にあるカンタブリア大学の施設で実施された。出題方式の大幅な変更があったにも関わらず、日本選手は過去最高の成績を収め、金メダル3と銅メダル1を獲得した。なお、今後も、出題方式は分野横断型の総合問題試験（筆記試験4、実技試験1）となる見込みとのこと。

芝川委員からは日本代表選手の通信研修報告がなされた。地学オリンピック日本委員会からの依頼を受け、3名の委員が通信研修指導に協力した。指導する側にとっても刺激のある経験で、今後も要請に応じて協力する方針を確認した。

##### 2) 広報活動

地質情報展2014 かがしまの地質学会ブースにて、第7回日本地学オリンピック予選ポスターと第10回国際地学オリンピック三重大会ポスターを掲示した。今回から更なる周知徹底に向け、地学オリンピック日本委員会が作成したポスターを掲示した。

##### 3) 地学オリンピックキャラクターデザインコンテスト（地質学会共同主催）の進捗状況報告

2014年6月10日～10月31日の応募期間中に43作品の応募があり、12月1日～26日に当委員会のメーリングリストを通じて事前審査を行った。事前審査では、地学オリンピック日本委員会関係者や地学オリンピックOBにも意見を求めた。

##### 4) 地学オリンピック関連イベントの報告

浅野委員と小泉委員からSSHの活動に関連して千葉県で行われた地学オリンピック講座の紹介があった。

##### 5) 今後の国際地学オリンピックに関する報告

久田委員より第9回国際地学オリンピックの開催地がロシアからブラジルに変更となったことと

その経緯について説明があった。さらに、第 10 回国際地学オリンピック日本大会（三重）に対する地質学会の寄付金供出と現在の寄付状況に関する報告がなされた。

## 2. 地学オリンピックキャラクターデザインコンテスト一次審査

事前審査結果をもとに 13 作品について一次審査を行った。一次審査に進んだ 13 作品を佳作とし、このうち 3 作品を二次審査通過作品とすることとした。なお、一次審査対象 13 作品について、最終的な結果発表までに、盗用や酷似するキャラクターが判明した場合は選考の対象から外すこととした。

参加賞については、地学あるいは第 10 回日本地学オリンピック日本大会（三重）にちなんだものが良いとの意見で一致し、その意向を地学オリンピック日本委員会へ要望することとした。

## 3. 第 7 回日本地学オリンピック予選問題の評価

芝川委員による各設問と地学基礎の教科書との対応に関する詳細な分析資料をもとに、予選問題に関する意見や感想が述べられた。「全体的には前回予選で要望した点が改善されている」、「より良問となっている」、「書式の統一や問題文の書き方について、中学生受験者への配慮も必要」などの意見が出された。

今回も外部評価という位置づけで予選問題の検討を行い、今後も委員間でメーリングリストを通して議論を行い、予選問題の評価と要望をできるだけ早く地学オリンピック日本委員会に提出することを確認した。

## 4. 平成 27 年度の活動方針

予選問題の評価と地質情報展での広報に加え、地学オリンピック日本委員会の要請に応じて、日本代表選手の通信研修や第 10 回国際地学オリンピック日本大会の準備に協力する予定である。

さらに、地学オリンピックの支援活動の一環として、地学の普及をはかることを目的とした新たな取り組みについても模索していく方針である。

以上